


施策カルテ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	日常生活の安心感を高める	取組の 基本方向	「日常生活の安心感を高める」ため、犯罪の未然防止の環境づくりのための「防犯対策の充実」、交通安全確保のための「交通安全対策の充実」、火災等の被害の軽減や救急救助効果向上のための「消防力・救急救助体制の充実」、災害への対応能力を高める「危機管理体制・危機対応能力の充実」、消費者被害の未然防止や九歳対策の推進のための「消費生活の向上」、食品危害の未然防止のための「食品の安全性の向上」、健康危機の未然防止や拡大防止のための「健康危機管理対策の強化」、日常生活の衛生水準向上を図る「生活衛生環境の向上」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	地域社会や事業者、行政が連携して日常生活を取り巻くさまざまな危機に対応し、市民が、安全で安心した生活を送っています。
--------------	---------------------------	----------------	--------------	-------------	--	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	交通安全対策の充実						④施策の達成状況	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)
	市民の高い交通安全意識と適切な道路整備により、交通安全が確保されています。							指標① (総合計画に基づく指標)	指標②	指標③	指標④ (特記事項)			
②施策目標	市民の高い交通安全意識と適切な道路整備により、交通安全が確保されています。						交通安全発生件数(件) ※暦年統計	-----	4,400	4,300	4,200	4,100	4,000	114.2%
③施策を 取巻く環境	国・県等の動向 交通事故の発生状況は、全国的に減少傾向にある。国においては、平成21年1月に「平成30年を目途に交通事故死者数を2,500人以下とする」新たな政府目標を掲げた。						交通安全死者数(人) ※暦年統計	-----	20	20	20	—	-----	
	外部意見 その他 平成21年11月、宇都宮市交通安全審議会において、交通安全教育の充実や高齢者の自転車利用者へのヘルメット着用の促進について指摘されている。						人口10万人当たりの交通事故発生件数(中核市順位)	-----	—	—	—	—	-----	
								27位(35市中)	25位(39市中)	27位(41市中)			-----	
⑤市民意識調査結果	市民の 施策満足度	36.1%	市民の 施策重要度	80.3%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	交通事故発生件数は減少傾向にあり、年別の目標を達成している。	⑦現状分析と課題の抽出 ③⑤⑥を踏まえた分析	成果が見られる点 改善の必要な点	交通安全に対する市民ニーズが高いことや他の中核市と比較して10万人当たりの交通事故発生件数が高いことから、今後も市民や関係機関・団体との連携を強化し、効果的な交通安全対策を実施していく必要がある。特に、高齢化の進展により高齢者の交通事故発生件数が増加傾向にあるため、高齢者の交通事故防止対策を講じていく必要がある。	
			必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	交通事故発生件数は年々減少傾向にあるが、全国の中核市での順位は低い状況にある。また、市政世論調査による交通安全対策の充実に対する重要度は高く、さらなる取組みが求められている。						
			適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	● 不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	各事業において概ね目標を達成しており、交通事故発生件数も減少しているが、高齢者の交通事故件数が増加傾向にあり対応が求められている。						
			有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	● やや不十分である	不十分である	説明	交通事故発生件数は着実に減少しているが、高齢者の交通事故が増加傾向にあることから、高齢者の交通事故を防止するための取組みが求められている。						

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	交通安全に対する市民ニーズに対応し、市民が安全で安心した生活を送れる社会の形成に向け、今後さらに交通事故発生を抑制していく必要がある。また、事務事業を効果的に推進していくため、地域住民や関係機関・団体との連携を強化していく必要がある。	⑨政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策の充実については、交通安全に対する市民ニーズに対応し、市民が安全で安心した生活を送れる社会の形成に向け、今後さらに交通事故発生を抑制していく必要があることから、事務事業を効果的に推進していくため、地域住民や関係機関・団体との連携を強化していくこと。 交通安全教育については、高齢者の交通事故を防止するため、実践的な交通安全教室を開催するとともに、交通安全教室に参加する機会の少ない高齢者に対しては、戸別訪問などによる交通安全教育を実施していくこと。 高齢化の進展にともない、高齢者の交通事故件数が増加傾向にあることから、これまでの高齢者に対する交通安全教育の見直しを図り、より効果的な対策を実施していくこと。
	重点事業	交通安全教育について、高齢者の交通事故を防止するため、実践的な交通安全教室の開催や交通安全教室に参加する機会の少ない高齢者に対し戸別訪問などによる交通安全教育を実施していく。		
	見直し事業	高齢化の進展にともない、高齢者の交通事故件数が増加傾向にあることから、これまでの高齢者に対する交通安全教育の見直しを図り、より効果的な対策を実施していく。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	交通安全教育 担当課 生活安心課	幼児・児童・生徒・高齢者	S49	交通安全教室開催数	346	349	14,634	17,002	A	拡大	高齢者の交通事故防止のため、高齢者を対象とした交通安全教育の拡充を図るとともに、幼児・児童に対する交通安全教室を継続的に実施し、幼年期から高齢者まで様々な世代の市民の交通安全意識を高揚させることで、交通安全を確保していく。
					349	374					
2	交通安全施設整備事業 担当課 道路維持課	全ての道路利用者	S45	歩道整備延長	347	360	155,278	88,739	A	継続	道路パトロールの強化及び地元自治会や交通管理者との連携により、交通危険箇所を把握し、効率的・効果的な対策を実施していく。
					889	370					
3	交通事故多発地点の安全性向上事業 担当課 生活安心課	交通事故多発地点、市民	H20	交通事故多発地点への交通安全対策実施箇所数	4	8	3,777	3,470	A	継続	交通事故多発地点の安全性を向上させるため、地域住民や関係機関と情報を共有化し、それぞれの役割に応じた交通安全対策を実施していく。
					4	1					

様式 2

4	路上喫煙対策事業		市民・本市の来訪者	H20	非路上喫煙率	100	100	10,299	6,981	A	継続	路上喫煙は危険行為であり、条例の周知やマナー啓発は路上喫煙防止や歩行者への安全確保に有効な手段である。条例指導員による効果も認められたことから、継続して実施していく。	
	担当課	生活安心課				98	99						
5	交通安全運動の推進		全市民	S45	交通安全運動の開催数	3	3	2,331	2,356	A	継続	市民の交通安全に対する意識を常に高いレベルで維持するため、市民、関係機関・団体と一体となった市民総ぐるみ運動を実施していく。	
	担当課	生活安心課				3	3						
6	交通指導員制度		児童	S45	交通市道員の立哨箇所における児童の交通事故の発生件数	0	0	65,269	65,048	A	継続	立哨や見守り活動は、交通事故防止のために有効な手段であるため、今後も継続して実施していく。	
	担当課	生活安心課				0	0						
7	自転車放置防止対策事務費（撤去自転車保管所管理費を含む）		市内で自転車を利用する者	S63	放置自転車撤去回数	155	155	30,457	34,215	A	継続	放置自転車を減少させ、都市の良好な交通環境と市民の安全な生活環境を確保するため、放置自転車の防止指導及び撤去を継続して実施していく。	
	担当課	道路維持課				155	159						
8	違法駐車防止対策事務費		自動車利用者	H6	違法駐車防止活動日数	72	72	3,913	3,070	A	継続	違法駐車台数は減少傾向にあるが、更なる減少を図るため、事業の手法等の見直しを行い、継続的に事業を行っていく。	
	担当課	道路維持課				72	72						
9	交通安全推進協議会連合会補助金		市交通安全推進協議会連合会	S57	交通安全啓発看板設置数	—	—	1,987	1,987	B	継続	交通事故の防止には、地域での交通安全活動が継続的に実施され、地域住民の交通安全意識の高揚を図ることが必要であるため、今後も活動の充実を図りながら支援を実施していく。	
	担当課	生活安心課				201	307						
10	交通安全母の会補助金		市交通安全母の会	S46	新入学児童交通マナーパンフレット配布数	—	—	598	598	B	継続	交通安全意識を家庭から育成し、かつ新入学児童への交通安全指導などを今後も継続的に実施することが必要であるため、団体の活性化を図りながら交通安全母の会への支援を実施していく。	
	担当課	生活安心課				5,650	5,500						
11	交通安全協会補助金		交通安全協会	S22	講習会受講者数	—	—	413	293	B	継続	交通安全活動における安全協会の役割は大きく、今後も高齢・若年運転者講習会は、交通事故の防止に有効であることから、市民の参加促進を図りながら、引き続き支援を実施していく。	
	担当課	生活安心課				448	309						
12	交通指導員連絡協議会補助金		市交通指導員連絡協議会	S45	研修参加者数	—	—	968	968	B	継続	交通指導員の資質の向上を図ることを目的とした研修会を継続的に実施することは、児童の登校時の安全確保を図るために重要であることから、団体の活動の充実を図りながら、引き続き支援を実施していく。	
	担当課	生活安心課				109	124						
再掲	道路バリアフリー推進事業		全ての道路利用者 (バリアフリー未整備の歩道等)	H13	点字ブロック整備延長	1,500	1,200	—	—	—	継続	「宇都宮市道路バリアフリー整備計画」に基づき、医療・福祉施設、市中心部、駅周辺等の整備を進めていく。	
	担当課	道路維持課				1,011	1,830						
施策事業費合計								289,924	224,727				